

**創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書**

事業名（年度）	創薬基盤推進研究事業（令和5年度～令和7年度）
研究開発課題名	RNAアプタマーを用いた標的タンパク質分解誘導法の開発
代表機関名	宮崎大学
研究開発代表者名	福永 圭佑

総合評価：やや良い

【評価コメント】

本研究は、RNA アプタマー版 PROTAC の創製を目指した挑戦的な研究である。PROTAC の細胞内発現が可能であることを確認するとともに、アプタマー部分の発現についても、リンカー設計に関する基礎的な知見が得られた点は評価できる。さらに、当初目標の BioPROTAC の標的タンパク質分解誘導確認には時間を要したものの、最終的には標的タンパク質の残存率を顕著に低減することに成功しており、RNA アプタマー版 PROTAC というコンセプトは実証された。最終的には一定の成果が得られているものの、研究の実施過程において、より慎重かつ十分な検討が必要であったのではないかと懸念が残った。

今後は、異なる細胞株を用いた再現性の検証及び有用性評価を行い、RNA アプタマー版 PROTAC の機能評価を進め、本技術の創薬応用可能性のさらなる評価・検証を期待する。

以上